

留学先大学:国立台湾師範大学

氏名:山崎滯

**【はじめに】**

こんにちは、国際文化学科4年の山崎滯です。4月の台湾は気温が徐々に上がり始め、日中は半袖でも過ごせる日が増えてきました。湿度も少しずつ高くなり、初夏のような気候を感じることもあります。

今回のレポートでは、学校生活をテーマに、授業と言語交換についてお伝えします。

**【授業について】**

今学期は、師範大学で「総合華語(二)」を聴講し、「読寫訓練(一)」を履修しています。また、文芸大でのゼミに参加しています。

「総合華語(二)」は、毎週月曜日と木曜日にメインキャンパスで行われており、1日2コマ(各50分)の授業です。クラスには約20人の留学生が在籍しています。教科書は『新版 實用視聽華語3』を使用しており、今学期は第6課から第14課までを学ぶ予定です。授業では、会話文や新出単語、文法、短文を通して、試験、教育、アルバイト、人の容姿、選挙制度など、日常生活や社会に関わる幅広いテーマを学習しています。

「読寫訓練(一)」は、毎週水曜日と金曜日に同じくメインキャンパスで行われており、こちらも1日2コマ(各50分)の授業です。教科書は『今日台灣 中級漢語課程』で、今学期は第1課から第6課までを学ぶ予定です。授業内容は短文、進出単語、文法が中心で、台湾の夜市をはじめとする文化的な話題が多く取り上げられています。

受講しているなかで、話を聞いて理解するのが難しいと感じることがあります。特に先生の補足説明やペアワークでは、スピードや語彙についていけず、理解が追いつかないことがあります。話す際も、適切な表現が浮かばず戸惑うことがあります。それでも、授業を受け続けるうちに、少しずつ慣れてきたように感じます。まだ聞き取れない部分も多く、自分の言いたいことをうまく伝えられない場面の方が多いですが、以前よりは先生やクラスメイトの言葉が少し理解できるようになり、ごく簡単なやり取りであれば、少しだけ会話に参加できるようになってきました。大きな進歩とは言えませんが、焦らず、少しずつでも慣れていければと思っています。



→公館夜市(公館キャンパスの近くで開かれている夜市)で買った蔥油餅の写真です。これは、小麦粉の生地小青ネギと油を加えて層状に巻き込み、平たく押しつぶして鉄板やフライパンで香ばしく焼き上げたものです。外はカリッと、中はおもちりとしており、ネギの香ばしい風味が印象的でした。

ゼミは毎週水曜日の午後に行われており、台湾に来てからはオンラインで参加しています。ゼミでは、3年生と4年生が合同で参加し、卒業論文の執筆に向けた発表が行われています。また、経済ニュースを持ち寄って共有したり、近況報告や趣味・関心について話し合ったりすることもあります。

#### 【言語交換について】

師範大学の学生と、中国語と日本語で言語交換をしています。週に一度のペースで会い、ご飯を食べたり、おしゃべりをしたり、運動をしたりしています。夕食は、メインキャンパスや公館キャンパス周辺で食べる人が多いです。授業や休日の過ごし方などの近況報告に加え、お互いの趣味について話すこともあります。また、ときどき学校のグラウンドで運動もしています。



→メインキャンパス付近にサイゼリヤがあり、そこで提供されているティラミス写真です。これは、イタリアから輸入されたマスカルポーネチーズを使用しており、濃厚ながらも口の中でなめらかに溶ける食感が特徴です。甘さがありますが、やさしい味わいのデザートです。

#### 【終わりに】

今回は、1学期間の振り返りについてお伝えする予定です。来月の報告書も楽しみにしていただければ幸いです。